

通信費見直しコスト削減

パイロットプロジェクト・徳木近夫社長に聞く

情報通信サービスに関する相談を一手に引き受ける総合窓口としてワンストップサービスを提供するとともに、通信サービスの活用による企業の効率経営、通信費の見直しによるコスト削減などを提案するパイロットプロジェクト(名古屋市区菊井2ノ19ノ11、徳木近夫社長)。ますます複雑化・多様化する情報化社会の「分かりにくい」「面倒くさい」を解決し、「見えない無駄を省く」ことで得られるコストメリットは大きい」と語る徳木社長に、同社の事業について聞いた。

(聞き手は名古屋支局 辻宏)

「どのようなサービスなら、ISDN回線をサービスを換えることで社

総合窓口として相談を

無駄がないのか把握が大切

「インターネットの取り次ぎと携帯電話の販売、そしてそれをきっかけに企業全体の通信コストの見直しを提案するコンサルティングを行っている。携帯電話も会社、サ



「通信の世界はどんどんややこしくなってきた。以前は、例えばコピーのことなら事務機会

社、電話のことならNTT、携帯電話なら最寄りのショップに相談すればよかった。それが今は、1本のインターネット回線上にパソコン、コピー、プリンターがつながり、さらに光電話もその回線に乗り、トラブルが起きたらどこに相談していいのかわからないという人が多

「電子入札への対応などに必要だから回線を引いたもの、それ以外で活用していない会社は多

「面倒くさいからと後回しにするのではなく、現状どういう状態で通信費用を支払っているのかをまず知ってほしい。そこに無駄がないのかを把握してみるということだ」

「そこに対して、われわれはノウハウを提案できるし、最新の情報をお伝えすることもできる。少しでも安いサービスを

「例えば『電話代を